



奈良県感染症情報

平成 31 年 第 17 週(4 月 22 日～ 4 月 28 日)
 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)
<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- マダニに注意しましょう

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	11.41	(8.94)	↑	↑	↑	→
2	A群溶連菌咽頭炎	2.62	(3.44)	↗	↗	→	↑
3	インフルエンザ	2.00	(1.95)	↑	↑	→	→
4	RS ウイルス感染症	0.76	(0.74)	→	↓	↗	↓
5	咽頭結膜熱	0.65	(0.56)	↑	→	↑↑	↓

発生状況： **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減：過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

感染性胃腸炎の報告数が増加しています。基幹定点からの報告によると、ロタウイルスによる感染性胃腸炎が増加しています。ロタウイルスの感染者の便には大量のウイルスが含まれていますので、おむつは適切に処理し、処理後は流水と石けんによる丁寧な手洗いを行い、感染を拡げないよう注意してください。

インフルエンザの報告数は横ばいですが、この時期としては報告数が多い状態が続いています。外出後は手洗いを行い、咳やくしゃみなどの症状があるときはマスクを着用しましょう。体調不良を感じた際は、早めに医療機関を受診するようにしてください。

◆ マダニに注意しましょう ◆

マダニの活動が盛んな春から秋にかけては、マダニに咬まれる危険性が高まります。マダニがウイルスや細菌などを保有している場合、咬まれた人が重症熱性血小板減少症候群(SFTS)やダニ媒介脳炎、日本紅斑熱などの病気を発症することがあります。山や草むらでの野外活動の際はマダニに注意しましょう。

➤ マダニに咬まれないために

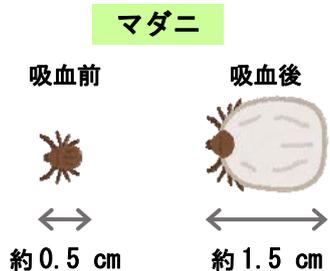
- ◆ 長袖・長ズボンを着用する(シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる、または登山用スパッツを着用する)
- ◆ 足を完全に覆う靴を着用する(サンダル等は避ける)
- ◆ 帽子・手袋の着用や、首にタオルを巻く等、肌の露出を少なくする
- ◆ 明るい色の服を着用する(マダニを目視で確認しやすいため)
- ◆ 虫除け剤を使用する

屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認して下さい。

特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部(髪の毛の中)などがポイントです。

➤ マダニに咬まれたときは

- ◆ 吸血中のマダニに気が付いた際は、無理に引き抜こうとせず、医療機関(皮膚科など)で処置(マダニの除去、洗浄など)をしてもらいましょう
- ◆ マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けて下さい



❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 31 年 第 17 週 4 月 22 日 ~ 28 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ	110 (2.00)	21 (1.50)	51 (3.64)	15 (1.36)	13 (1.30)	5 (2.50)	5 (1.25)	
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	26 (0.76)	2 (0.22)	1 (0.11)	9 (1.29)	14 (2.33)			
咽頭結膜熱	22 (0.65)	2 (0.22)	2 (0.22)	9 (1.29)	9 (1.50)			
A群溶連菌咽頭炎	89 (2.62)	10 (1.11)	18 (2.00)	14 (2.00)	35 (5.83)		12 (6.00)	
感染性胃腸炎	388 (11.41)	97 (10.78)	79 (8.78)	86 (12.29)	117 (19.50)	3 (3.00)	6 (3.00)	
水痘	7 (0.21)	3 (0.33)	3 (0.33)				1 (0.50)	
手足口病	17 (0.50)	2 (0.22)	7 (0.78)	5 (0.71)	3 (0.50)			
伝染性紅斑	13 (0.38)	2 (0.22)	5 (0.56)	4 (0.57)	2 (0.33)			
突発性発しん	8 (0.24)	2 (0.22)	1 (0.11)	3 (0.43)	2 (0.33)			
ヘルパンギーナ	2 (0.06)	1 (0.11)	1 (0.11)					
流行性耳下腺炎	2 (0.06)	1 (0.11)			1 (0.17)			
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	4 (0.40)	1 (0.33)		3 (1.50)				
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎	1 (0.17)		1 (0.50)					
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	15 (2.50)		9 (4.50)		6 (6.00)			

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核5件(奈良市1、中和4)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	アメーバ赤痢1件(郡山1) カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(郡山1) 梅毒4件(奈良市1、郡山1、中和2)

❖ 第 17 週のトピックス ❖

◆IASR 40(4), 2019【特集】麻疹2019年2月現在

<https://www.niid.go.jp/niid/ia/id/657-disease-based/ma/measles/idsc/iasr-topic/8732-470.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男			1	1	2	3	2	3	4	7		12	1	4	2			3			45	5585
	女			3	1	1	7	1		2	2	3	16	4	7	7	2	3	3	3		65	5787
RSウイルス感染症	男	2	1	8	2																	13	181
	女		2	3	4	3	1															13	167
咽頭結膜熱	男		1	6	2	2		1														12	137
	女			5	1	3	1															10	98
A群溶連菌咽頭炎	男		1	6	6	7	6	6	5	4	3	2	7									53	613
	女			1	2	7	4	3	3	6		2	4		4							36	493
感染性胃腸炎	男	2	12	32	21	22	15	20	19	16	11	8	9	4	7							198	2063
	女	4	13	27	21	14	23	18	14	12	7	5	11	2	19							190	1877
水痘	男			1				1	1				1	3								6	78
	女																					1	64
手足口病	男		2	4	4																	10	66
	女		1	4	2																	7	67
伝染性紅斑	男				2		1	3	2													8	48
	女				1			1		3												5	39
突発性発しん	男		1	2	1																	4	99
	女		1	2	1																	4	80
ヘルパンギーナ	男			1	1																	2	9
	女																						3
流行性耳下腺炎	男			1							1											2	10
	女																						11
急性出血性結膜炎	男												1									2	52
	女				1												1					2	57
細菌性髄膜炎	男																						3
	女																						2
無菌性髄膜炎	男																						1
	女																						1
マイコプラズマ肺炎	男			1																		1	12
	女																						15
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男	2	3	3	1																	9	34
	女	2	3	1																		6	23

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ H31 ▲ H30 □ H29 〰 過去10年平均

